

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和6年度第2回宮古地域づくり協議会を次のとおり開催しました。

令和6年5月31日

宮古地域づくり協議会

1 開催日時

令和6年5月24日（金）10時30分から11時45分まで

2 開催場所

宮古市市民交流センター 2階 多目的ホール

3 会議の概要

- （1）地域自治区廃止に向けた検討について
- （2）宮古市教育振興基本対策審議会委員の推薦について
- （3）その他

4 問い合わせ先

宮古地域づくり協議会事務局 宮古市企画部企画課地域創生推進室

電話 0193-62-2111（代表） 内線 4620 0193-65-7056（直通）

令和6年度第2回宮古地域づくり協議会

- 1 開催日時 令和6年5月24日（金）10：30～11：45
- 2 場所 宮古市市民交流センター 2階 多目的ホール
- 3 出席委員 戸由忍、中崎則男、小野寺靖、畠山亜紀、小地沢一郎、大上敦子
- 4 欠席委員 畠山初男、佐々木夏希、八島彩香、佐可野瑞穂、関口健
- 5 事務局 企画部企画課 箱石剛課長、竹田真吾地域創生推進室長、千葉志美主任
- 7 傍聴者 なし
- 8 議事等
10:30 企画課地域創生推進室長が会議の開会を宣言
10:31 会長挨拶
10:33 協議
11:40 その他
11:45 企画課地域創生推進室長が会議の閉会を宣言
- 9 結果
【協議事項1】
地域自治区廃止に向け、①地域自治区・地域づくり協議会②地域創造基金・補助金について協議した。
①了承。
②おおむね了承。少額枠の申請のタイミングや上限額は検討すべき。

【協議事項2】
宮古市教育振興基本対策審議会に戸由忍会長を推薦することとなった。

質疑応答

質問・意見	回答
【地域自治区・地域づくり協議会】 (委員) 委員会がなくなった後、検討すべき地域課題が出てくることはないか。 (委員) 案のとおりで良いと思う。 地域の声の集約に力を入れてほしい。 (委員) これまでの協議事項はどのようなものがあったのか。 (委員) 我々が委員になってからは、地域創造基金事業の審査しかしていない。今後の資料には、これまでの経緯を詳しく記載しては。 【地域創造基金・補助金】 (委員) 令和7年度事業の募集スケジュールはどのようなか。事業実施年に募集する形にした方が良いのでは。 (委員) 少額枠だけは、申請のタイミングについて検討してみてもは。 (委員) これまで地域創造基金事業の審査をしてきて、存続してほしい事業とそうでない事業があった。自主財源の確保について、市から指導してほしい。 (委員)	(事務局) 旧宮古市に限った協議はこれまでもなかったもので、今後も出てこないものと考えている。 (事務局) 各地域では、地域の防災や公共交通について協議されてきた。 (事務局) これまでは、市の予算編成に合わせたスケジュールになっていた。 令和7年度分については、予算枠を設けておいて年度末または来年度のはじめに審査することを検討している。 (事務局) 通常枠・少額枠は同時の審査でなくても良い。年2回の募集も可能だと思うので、検討する。

申請条件に「自主財源が1円以上ある団体」とあるが、「自主財源を確保できる団体」等と修正しては。 (委員) 少額枠の上限を下げて、より多くの団体が利用できるようにしては。 所属する団体で様々な補助金を活用し、事業を実施しているので、他団体にも学んでいただけると嬉しい。 (委員) 委員になるまで補助金の存在を知らなかった。ハードルを下げるのは良いことと思う。	
--	--